

令和8年度水稻害虫トラップ情報（7月下旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

（1）予察灯

誘殺数は、青森で7月5半旬に平年より多かったほかは、平年より少なかった。

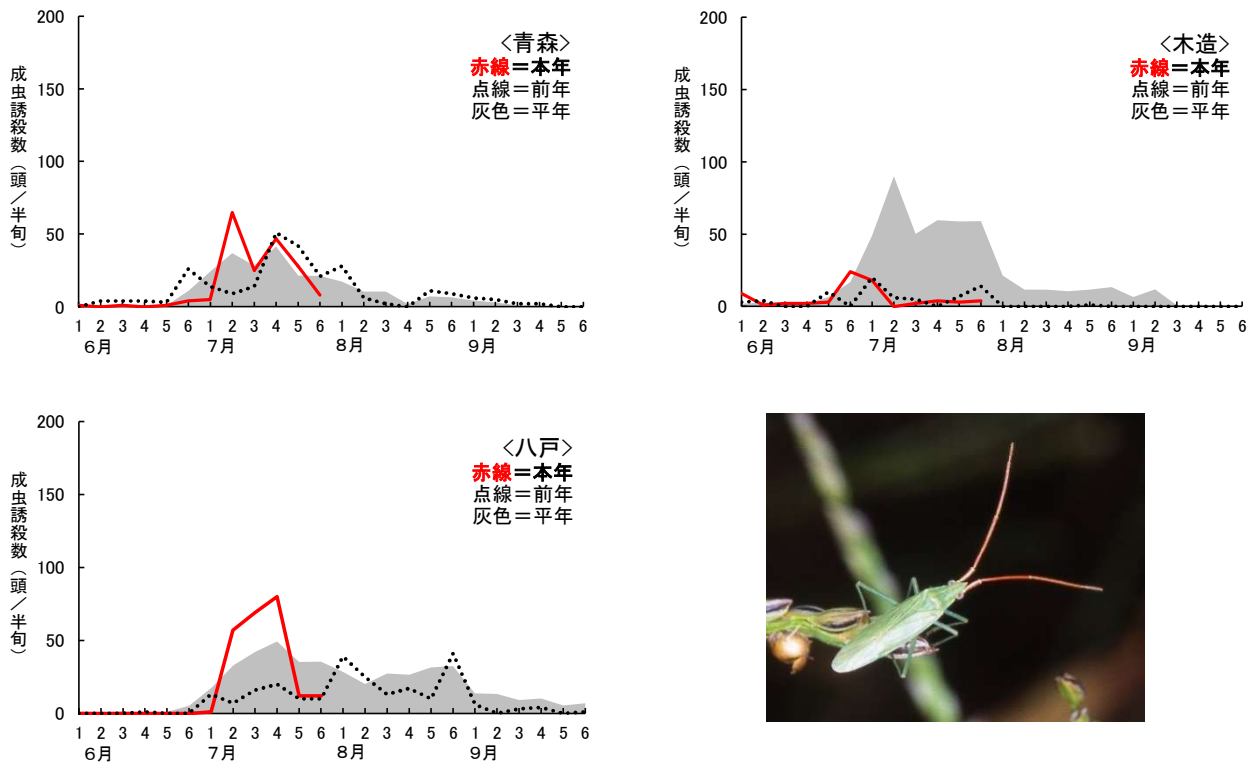


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

※青森において、7月3半旬の値は欠測値（7月12～14日）を含む。

木造において、7月2半旬、3半旬の値は欠測値（7月7～14日）を含む。

（2）性フェロモントラップ【畦畔】

誘殺数は、いずれの地点も平年より少なく推移している。

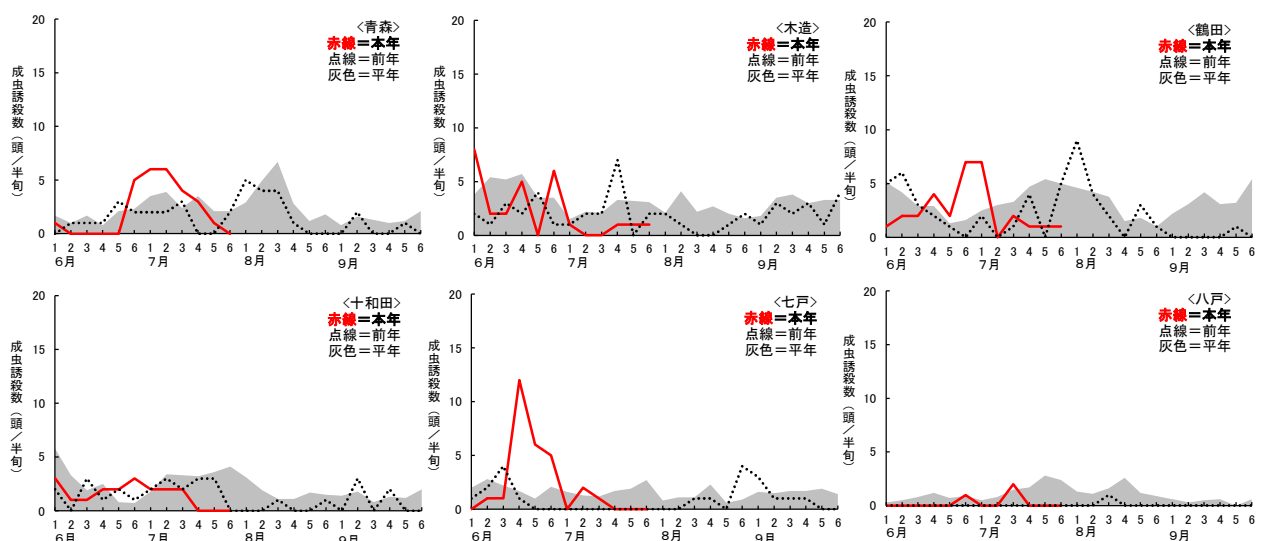


図2 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

2 アカスジカスミカメ

(1) 予察灯

誘殺数は、八戸が7月6半旬に平年並だったほかは、平年より少なく推移している。

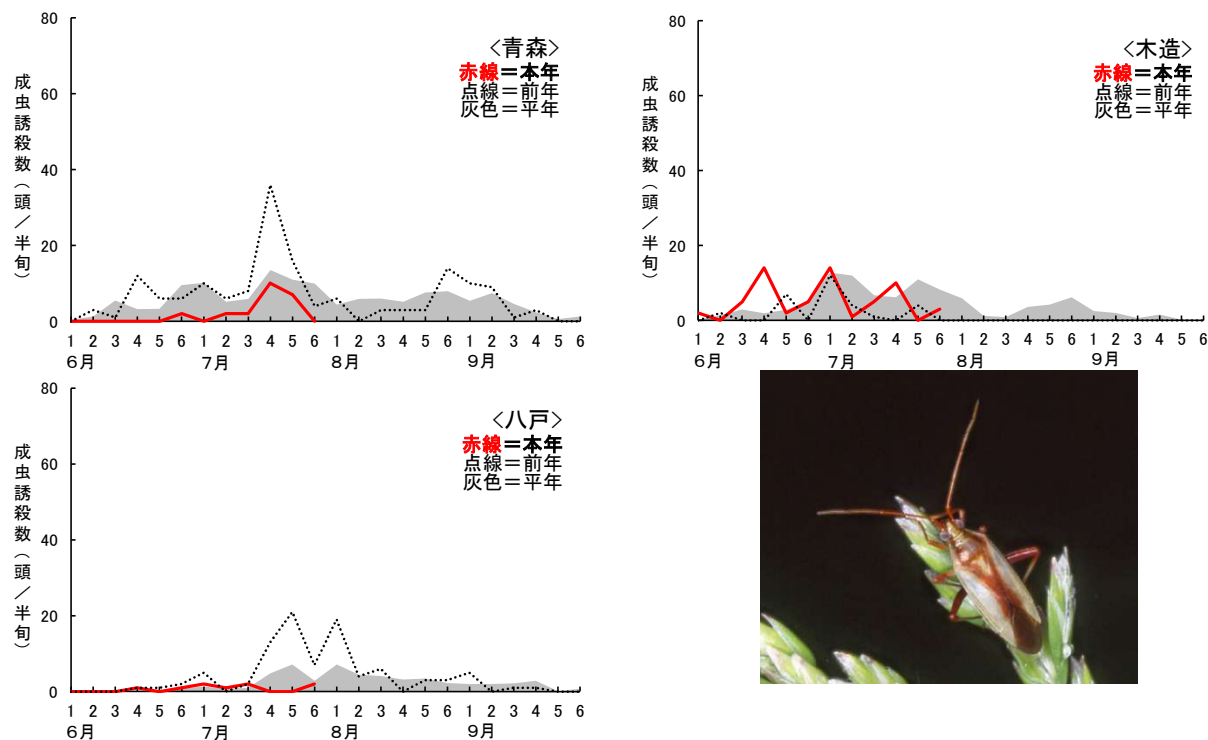


図3 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

※青森において、7月3半旬の値は欠測値（7月12～14日）を含む。

木造において、7月2半旬、3半旬の値は欠測値（7月7～14日）を含む。

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

誘殺数は、いずれの地点も平年並～少なく推移している。

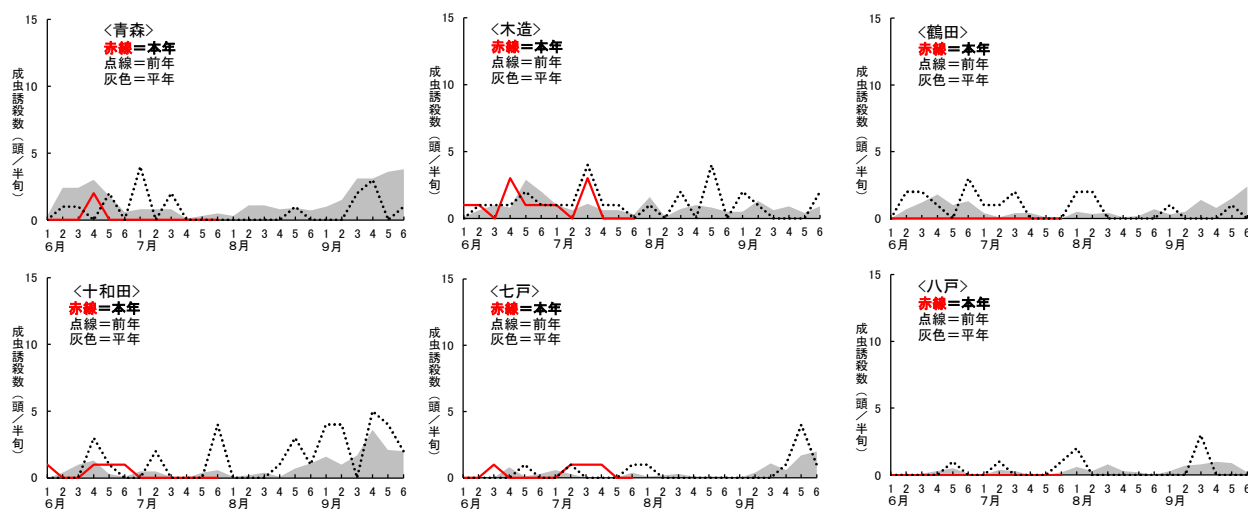


図4 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

3 フタオビコヤガ

(1) 予察灯

誘殺数は、いずれも平年より少なく推移している。

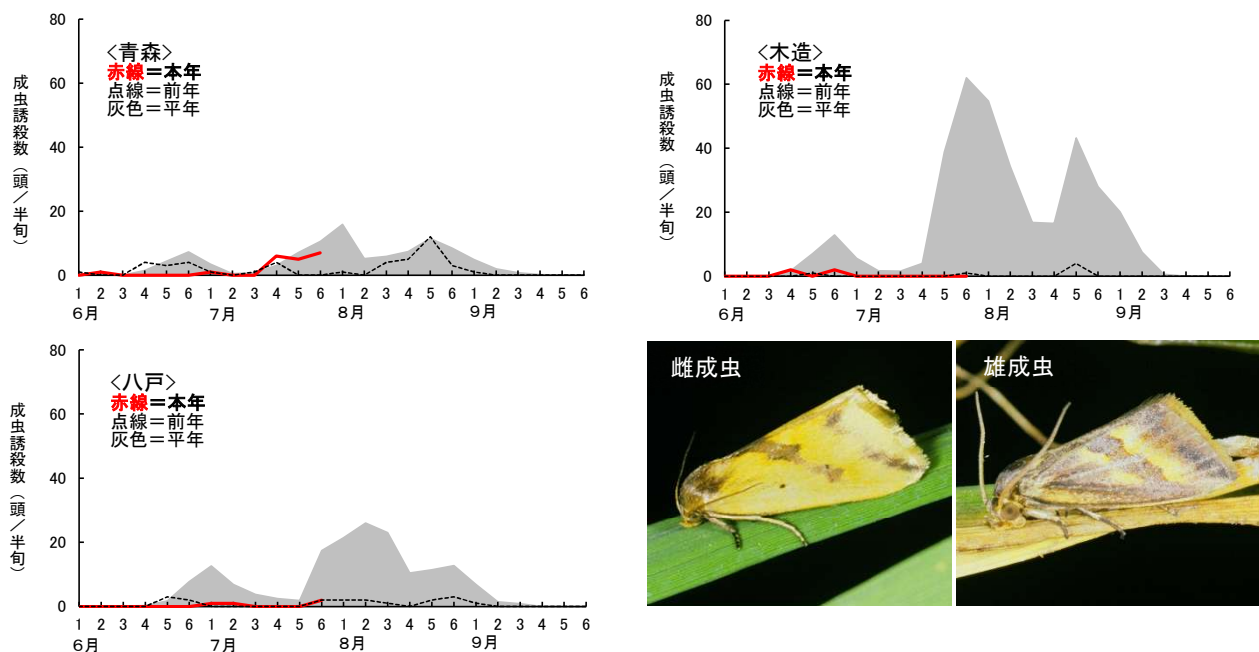


図5 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

※青森において、7月3半旬の値は欠測値（7月12～14日）を含む。

木造において、7月2半旬、3半旬の値は欠測値（7月7～14日）を含む。

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

誘殺数は、十和田で7月5半旬に多かったほかは、平年より少なく推移している。

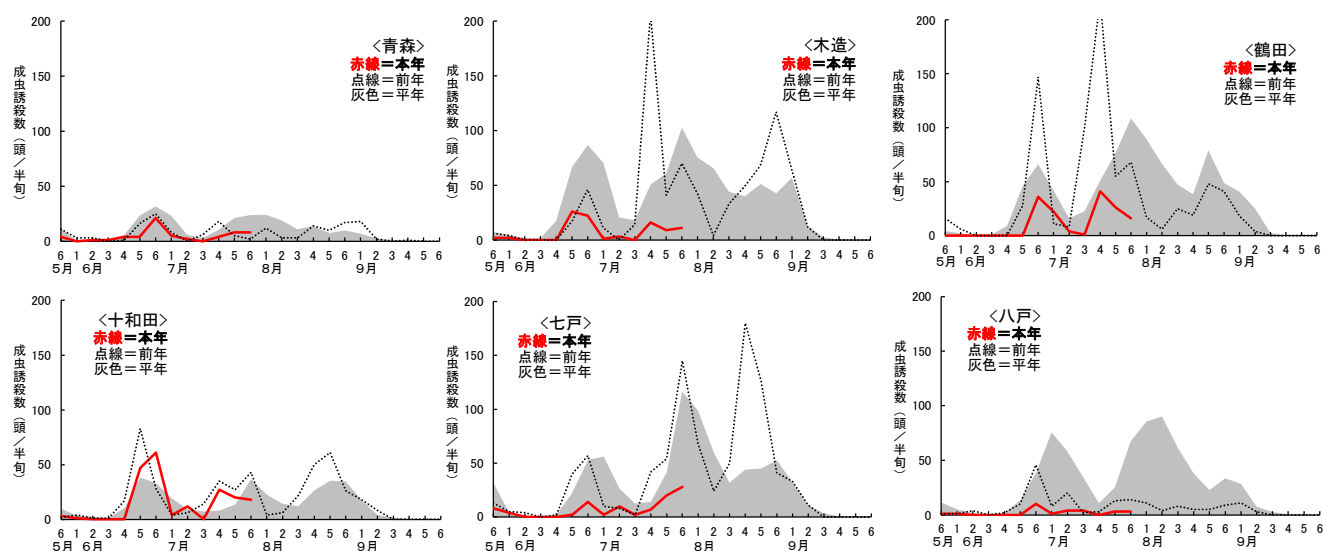


図6 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

【この情報に関する問合せ先】 担当：主幹 菊池 晴志

〒030-0113 青森市第二間屋町4-11-6 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900